



題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールや
ほかの作品はこちら▼



竹節分のお話
北入曾では、冬から春にうつりかやる竹節分になりますと「しとり」ともいって厄ばらいをします。「豆まき」しながら「福は内」を二回、「鬼は外」を大声で一回来、すぐ力を止めました。
また、年トりの豆を、救つぶりまきのようにお願いをしたとつづです。そして、不た川の土橋の下で一晩すごすと、今年令もとらないといふ伝説もあります。

さやまの昔ばなし

30

このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介します。

編集後記

いちごの季節がやってきました！市内の農園では「紅ほっぺ」や「やよいひめ」「あまりん」など多くの品種を育てています。それぞれの形や色、味に特長があり、実際に食べ比べてみると、その違いがよく分かります。

いちごを料理に使う際には、品種によって向き不向きがあると取材の際にお伺いしました。これは酸味や甘味、水分量の違いによるものだそうで、サラダやスイーツなど料理の際に使い分けると、いちごをよりおいしくいただけるということです。

紙面では紹介しきれませんでした。おいしいいちごの食べ方や見分け方などは購入・いちご狩りの際、お店の方に聞くと教えてもらえますよ。冬から春にかけて旬を迎える狭山のいちごを、ぜひご賞味ください！

広報さやまへのご意見・ご感想は
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111
FAX 04-2953-1117



公式
ホームページ



公式
Facebook



公式
Twitter



狭山市LINE
公式アカウント
ID:@citysayama

